

令和7年6月定例会

一 般 質 問 要 旨

(令和7年6月9日・10日)

(質 問 順 序)

- | | | | |
|----|-----|-----|----------------|
| 1 | 田 村 | 儀 光 | 議員 (真 政 会) |
| 2 | 吉 原 | 正 | 議員 (市 民 の 風) |
| 3 | 佐 藤 | 和 幸 | 議員 (真 政 会) |
| 4 | 菅 原 | 喜 博 | 議員 (令 和 会) |
| 5 | 小 畑 | 新 一 | 議員 (公 明 党) |
| 6 | 伊 藤 | 励 | 議員 (市 民 の 風) |
| 7 | 今 泉 | まき子 | 議員 (日 本 共 産 党) |
| 8 | 柳 館 | 晃 | 議員 (真 政 会) |
| 9 | 花 田 | 強 | 議員 (市 民 の 風) |
| 10 | 工 藤 | 賢 一 | 議員 (市 民 の 風) |
| 11 | 相 馬 | エミ子 | 議員 (市 民 の 風) |
| 12 | 佐々木 | 公 司 | 議員 (令 和 会) |
| 13 | 秋 元 | 貞 一 | 議員 (令 和 会) |
| 14 | 岩 本 | 裕 司 | 議員 (市 民 の 風) |

大 館 市 議 会

田 村 儀 光 議 員 （ 真 政 会 ）

1．3月3日の記者会見について

- ・ 潔白を証明するため、再度記者会見を開くべき

2．選挙公約の進捗について

- (1) 大館には時間がないと言っていたが、公約に対する動きが見えないという市民の声が多い。市長の考えは
- (2) 若者を増やし担い手不足を解消するため、どんな政策で人口減少を食い止めるのか
- (3) 具体的な政策と数値目標を教示してほしい

3．スタートアップ事業について

- ・ いつ、どのように行政サービスとして展開する方針か

1．令和のコメ騒動と言われる米の高騰に対する市の米政策と農家支援策について

- (1) 現在の店頭小売価格は生産者価格の2倍と異常である。農家がもうかっているわけではなく、逆にコメ離れが心配される。米産地の市長としてどう考えているか
- (2) 行政報告では大館の主食用米作付面積が生産の目安の面積よりも528ヘクタール少なく、今後作付拡大を働きかけるとのことであったが、早急な対応が必要ではないか
- (3) 当初予算で小規模農家への支援策が予算化されたが、現在の取組状況は。小規模農家が営農を継続するため、高額農機具の共同利用によるコスト削減等の対策を検討すべきではないか

2．比内地域バス路線の再編について

- (1) 再編地域となる大葛、西館、東館の各地区座談会での主な意見、要望と参加者の反応について
- (2) 座談会出席者から土日祝日運行について要望されたと聞いたが、その対応について市長の考えを伺う
- (3) 10月から1年間実証運行を行う計画だが、従来とは違うルートの路線もある。実際の運行で改善点が見つかった場合の変更はあるか

3．大葛のベニヤマ自然パークの利用拡大に向けた取組について

- (1) 市内・県外等、今までの利用状況についての分析をしているか
- (2) ホームページを充実させ、予約状況の把握とネットでの予約ができるようにするとともに、大館の特色ある食材メニューを選べる仕組みをつくり、食の体験で魅力アップを図ってはどうか

- (3) 利用者の利便性を高めるため、コテージから最短で大葛温泉に行けるように、金山川への簡素で特色のある橋を設置してはどうか。市長の考えを伺う

1．老朽化が進む公共施設の今後の管理や在り方について

- ・ 大館市公共施設等総合管理計画に対するこれまでの取組の評価と第3期計画に向けた市の方向性は

2．休館しているベニヤマ荘の管理と運用について

- (1) 老朽化と腐食が著しいプールによって、住民や通行人からの不安の声が増えている。早急な解体が必要ではないか
- (2) 本市と森吉山・太平湖の玄関口として、ビジターが立ち寄れる拠点としての利活用を考えてはどうか

3．比内地域における公共交通の再編について

- ・ 大葛、西館、東館での住民説明会において、土日祝日の運行を求める声が多くあった。10月から始まる実証運行に向けて再検討できないか

4．過疎地域におけるこれからの移動手段の在り方について

- (1) 今後さらに人口減少が進んだとしても、交通空白地帯をつくらない仕組みを今から整えるべき
- (2) 予約型乗り合いタクシーや住民主体で運行するコミュニティバスなど、新たな移動手段の可能性は

1．J-クレジット制度を活用した市有林の管理について

- ・ 市有林の適切な整備により創出される二酸化炭素吸収量を、国が運営するJ-クレジット制度において売却し、その売却益を市有林のさらなる管理に活用すべき

2．人口減少対策について

- ・ 秋田県が人口減少対策として打ち出した県出身の子育て世帯に絞ったAターン推進政策と歩調を合わせ、本市でも子育て世帯に絞ったAターン政策を強力に推進すべき

1．大館市の少子化対策への取組について

- (1) 少子化の現状と課題について市長の認識は
- (2) 様々な部署が多く支援策を行っている。その取組における課題と連携をどのように考えているか
- (3) 効果的に推進するには責任部署を明確にする必要があると考えるが、その認識は
- (4) 責任部署を設ける場合、どのような組織にどのような権限を持たせる計画か
- (5) 今後、具体的な対策をどのように進めるのか。その展望とスケジュールは

2．人口減少社会に対応する政策について

- (1) 人口減少を前提とした「市民一人ひとりの豊かさ」を追求するまちづくりへの転換を進める考えを問う
- (2) 人口減少社会では買物難民問題の深刻さが増す。その対応をどのように考えているか
- (3) 人口減少社会におけるコンパクトシティの推進には市民や事業者の意見の集約が重要だが、どのように進めるのか
- (4) 市民が将来に希望を持てるようなまちづくりを進めるためには市民との議論を活発化させる必要があると思うが、市長の考えは

3．事業別フルコスト情報の開示に関する大館市の今後の取組について

- (1) 大館市では、人件費や減価償却費等を含めたフルコスト情報は開示されていない。その問題点に関する認識を問う

- (2) フルコスト情報の開示に関する必要性についての認識を問う
- (3) 人口減少が進む中ではＤＸの導入促進が必要となる。住民ニーズの変化を捉え、費用対効果の低い事業やサービスを見直し、住民サービスの向上を図るために何が必要か問う

4．学校体育館への冷房設備導入について

- (1) 近年、気温上昇に伴い熱中症リスクが増大している。冷房設備導入にかかる費用対効果や生徒の健康、災害時の安全性向上という観点からの分析をどのように行っているか
- (2) 災害時の避難所としての体育館の現状と夏季の避難生活における課題の認識は
- (3) 市民の声に耳を傾け、国の補助金制度等を活用し冷房設備の整備を進めるべきと考えるが、大館市の今後の取組方針について問う

1．行政のデジタル化について

- (1) 出勤簿や給与明細をオンライン化し、事務の効率化を図ってはどうか
- (2) 配布物のLINEでの閲覧や公民館利用のオンライン申請、予約確認など、デジタルの選択肢を設けることで、若者もより利用しやすくなると考えるが、市長の考えは

2．山田敬藏記念ロードレース大会における地域応援体制の強化について

- ・ 一般出場者やふるさと納税で出走権を得たランナーを地域で応援する体制を、町内会と連携して進めていくべきと思うが、市長の考えは

今 泉 まき子 議員 （日本共産党）

1．公共交通体系の再編について

- (1) 大館版m b i プロジェクトについて、高齢の方でも利用しやすいよう対策を
- (2) 郊外からの交通アクセスの充実について

2．市職員の兼業について

- (1) 兼業を導入する一番の目的は何か
- (2) 職員の負担とはならないのか

3．小・中学校の全ての児童・生徒の入学に必要な制服や運動着等の購入費助成について

- ・ 物価高騰対策や子育て支援策として運動着やかばん、制服などの購入費を助成してはどうか

1．市長の政治姿勢について

- ・ 市長が掲げる「子や孫世代と共に栄える大館」実現のための具体的な政策、数値目標を問う

2．東大館駅の建て替えと現駅舎の移設、再利用について

- ・ 現駅舎の保存、再利用に当たり、学識経験者、利用者、ＪＲ東日本盛岡支社等と対応を検討していたが、その後どうなっているのか

3．ふるさとキャリア教育の今後について

- ・ 今後ふるさとキャリア教育をどのように捉え、深化させていくのか。また、今後の課題は

花 田 強 議員（市 民 の 風）

- ・ 田代体育館の手すりの改修について
- ・ 田代体育館の2階観覧席の手すりの間隔が広く落下の危険性があるため、改修が必要と思うが、市長の考えは

1．大館市における公益通報者保護制度の運用について

- ・ 市では大館市公益通報者保護制度実施要綱を定めているが、匿名通報の取扱いと通報者の範囲が、消費者庁で定める公益通報者保護法を踏まえた地方公共団体の通報対応に関するガイドラインとそこがあると思われ、市内事業者及び労働者への周知については不十分と思われる。今後の運用方針について市長の見解を伺う

2．扇田病院の今後の方向性として示された「三つの選択肢」について

- (1) 市長は3月定例会厚生常任委員会総括質疑において、扇田病院の方向性について「一般会計から繰入れを続けていくのか、無床化して診療所化するのか、または撤退して別の医療の在り方を検討していかなければならないのか」と三つの選択肢を提示しているが、ほかの方法は考えられないのか。また、撤退して別の医療とは具体的にどのような方法か、市長の見解を伺う
- (2) 市長は、「市民の皆様から負託を得ている議員の皆様と議論をして進めていきたい」と答弁しているが、具体的にどのような方法で議論を進めるのか
- (3) 三つの選択肢を検討する場合、病院事業経営強化プランの改定に連動すると考えるが、プラン改定に当たってのスケジュールやプラン改定の具体的方法について、病院事業管理者の見解を伺う

1．消防団員の充足率と報酬について

- (1) 消防団員の充足率と報酬額は
- (2) 団員確保に向けた取組は
- (3) 女性団員や機能別団員の活動状況は
- (4) 活動の重要性の周知について

2．高齢者の孤立防止対策について

- (1) 健康寿命について
- (2) 高齢者の支援を手厚くするべき
- (3) 高齢者の孤立防止対策は

3．学校給食に地元食材の活用を

- (1) 県産食材の使用率は
- (2) 地元食材の供給状況は

4．市立総合病院の眼科の診察時間について

- ・ 診察時間を午前と午後に分けてはどうか

佐々木 公 司 議員（令和会）

1．今、市長が最も力を入れて取り組んでいるプロジェクトは

- ・ 全国一若い市長として注目されたが、全国一の施策として掲げるものは何か。また、その進捗状況は

2．令和のコメ騒動について

- (1) この問題をどのように捉えているのか
- (2) 備蓄米についての認識は
- (3) 本市における状況と対応策は
- (4) 稲作を含めた国の農業政策についてどのように考えているか

3．野遊びSDGsの今後の展開について

- (1) スノーピーク撤退後の独自の計画は
- (2) 野遊び、里山散歩を複合したサイクルライフも考えてはどうか

4．地球温暖化対策について

- (1) ゼロカーボンシティへの取組状況は
- (2) 市民への啓発について

5．登山と熊被害防止対策について

- (1) 山菜取りや登山シーズンの市民への注意喚起について
- (2) NHKの番組で熊対策を取り上げていたが、これを活用してはどうか
- (3) 県の生活環境部の野生動物生態講座用読本「ツキノワグマ」を活用してはどうか

6．今注目されているウェルビーイングについて

- ・ 本市の取組について

7．真田幸村大館生存説と飯田家との相関関係の地域振興への活用について

- ・ 北羽歴史研究会の学習会で第15代飯田公久氏や天野博氏の講演を聴いたが、大館市として観光や歴史的な地域振興に生かしてはどうか

8．「大館の歴史」について

- ・ 第3刷が出版され20年以上経過したが、改訂の計画はないか

秋 元 貞 一 議員（令和会）

1．間もなく1年となる石田市政について

- (1) 所信表明に対する自己評価と現状について
- (2) 二地域居住促進法を活用して大館創生を推進するべき

2．ふるさとキャリア教育の現状と今後について

- ・ ふるさとキャリア教育を本市教育施策の根幹に据えて15年となる今、本市学校教育の現状をどのように捉え、今後どのような方向に導こうとしているのか

岩 本 裕 司 議員 （市民の風）

1．カワウが水産観光資源に与える被害への対策と保護について

- ・ 繁殖し増加しているカワウから内水面の魚類生態系を守り、観光資源に与える被害を少なくする対策と保護に米代川水系全体で情報を共有して取り組み、観光資源を守るべきではないか

2．深夜早朝のタクシー営業について

- ・ 深夜早朝のタクシー営業がないことへの対策を検討するべきではないか。また、タクシー運行がなくなったことによる飲食店の衰退を加速させないように対策すべき

3．市職員の人員確保について

- (1) 今年度、何人の会計年度任用職員が減となったのか。また、任期を更新しなかった理由は
- (2) 正規職員を基軸とした適正な人員確保について
- (3) 市職員の人員確保が市長の政策実現の一助になるという提案について
- (4) 再任用職員の採用状況と給与について

4．虐待防止条例の制定について

- ・ 虐待とは何か、どのようなことが虐待に当たるのか、市民の意識醸成に取り組むために虐待防止条例を定めるべき